



黒石市物産ガイドブック

くろいし
手物産
帖



黒石の魅力に触れてみませんか。

黒石市は、青森県のほぼ中央に位置し、豊かな自然と豊富な温泉に恵まれ、味の良い「黒石米」と「黒石りんご」の産地として知られる古くからの城下町です。

独特の文化に育まれた工芸品、八甲田の伏流水で仕込まれた地酒、受け継がれた伝統の技、味、文化を

お店に足を運んでいただき、触れてみてはいかがでしょうか。



黒石ならではのスイーツ
P3 → P7



黒石ならではの地酒
P9



黒石ならではの食産品
P10 → P11



黒石ならではの創作品
P13 → P16

黒石ならではのスイーツ

CONTENTS

- P 03 りんご紀行
- P 04 こけしのあたまんじゅう
- P 04 七々子
- P 04 黒い石だたみ
- P 04 銘菓シャロン・黒石シューロール
- P 05 ミニクレープ
- P 05 あっふるパイ
- P 05 アイスクリューム
- P 06 ねぶた煎餅
- P 06 パウムクーヘン各種
- P 06 オリジナル焼き菓子
- P 07 干梅
- P 07 おはぎ
- P 07 四半餅
- P 07 串だんご



りんご紀行

じっくり丁寧に作られた自家製りんごジャムをサンドし、ソフトなタルト生地やさわやかなバター風味。華やかなりんごの味と香りをお楽しみください。

「洋菓子 シュール」

黒石市泉町90 TEL.0172-53-2737
 営業時間 9:00～19:30 日不定休
 Instagram:aomori_kuroisi_cake.cher



MAP 01 MEMO

こけしのあたまんじゅう

(津軽こけし館限定パッケージ)

津軽系こけしのふるさと・黒石市にあるお菓子屋さん「おかしのおくムラ」がこけしへの愛を込めて作った「あたまん」。おいしい黄身餡をもちもちな生地で包んだ可愛いおまんじゅうです。

「津軽こけし館」

黒石市袋富山72-1 TEL.0172-54-8181
 営業時間 9:00～17:00 年末年始
<http://tsugarukokeshi.com/>



MAP 02 MEMO

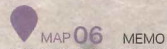
ミニクレープ

生チョコ・ストロベリー・ブルーベリー・コーヒークリーム
リスボンといえばミニクレープ! もちっとしたクレープの皮に、生クリームをはさみ、ロール状に巻いた小さめのクレープです。大人から子供までとても人気の商品です。



「リスボン菓子店」

黒石市ぐみの木二丁目 56 TEL.0172-53-0644
営業10:00～18:00 困週一不定休 (主に月または火)

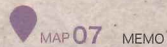


あっぷるパイ (紅玉、ふじ)

りんご農家のかっちゃん(お母さん)達が自分で食べてハマるパイを作りました。「紅玉」は本来の酸味を活かして、甘いけれど後味すっきり。「ふじ」はふじらしい甘さを前面に出しつつ食べやすい味になっています。

「株青森りんごランド」

黒石市高館甲花岡135-2 TEL.0172-53-5701
営業9:00～17:00 困日曜日・祝日 (1月～3月は土曜日休業)
<http://ringoland.co.jp/>



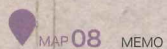
アイスクリーム

すべて手作りのアイスクリームです。昔なつかしいアイスキャンディーの「あずきキャンディー」は小豆を煮るところからすべて手作りで、楽しいネーミングの「もりもりアイス」など、手作りならではの素朴で優しい味わいがするアイスクリームです。



「須藤冷菓店」

黒石市大町二丁目 121 TEL.0172-53-0440
営業11:00～17:00 困月曜日 (9月中旬～4月下旬休業)



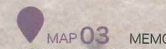
七々子

津軽の伝統工芸「津軽七々子塗」。その美しさに魅了され、七々子の模様をスイーツで表現しました。上品で高級感があり、思わず手にとりたくなるスイーツです。ショコラクリームの中にフランボワーズジュレを合わせた情熱の一品で、お土産品として大人気!!



「ベル・プランタン笹屋」

黒石市吉乃町 4 TEL.0172-52-5420
営業9:00～19:00 困火曜日

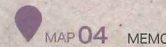


黒い石だたみ

ざくざくピーカンナッツ入りのチョコブラウニーケーキに、特製ガナッシュチョコをサンドしたオクムラ自慢の一品。黒石の地名を活かした商品名とスタイリッシュなパッケージでお土産にも大人気です♪

「株おかのオクムラ」

黒石市大町二丁目 53 TEL.0172-52-2841
営業9:00～19:00 困不定休 (月三回程度)
Instagram:okumura1952



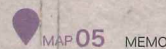
銘菓シャロン・黒石シューロール

三笠宮寛仁親王殿下も愛され、内閣総理大臣賞やモンドセレクション 2022 で最高金賞を受賞した「銘菓シャロン」、ふんわりとした食感で深いコーヒーの香りが広がります。モンドセレクション 2020 で銀賞を受賞した「黒石シューロール」も人気です。



「シャロン甘洋堂」

黒石市前町 17-9 TEL.0172-52-4688
営業10:00～18:00 困不定休 (お問合せください)
<https://syaron.com/>



おはぎ

やわらかく炊きあげたもち米（自家製）をあん（北海道産の小豆を昔ながらの製法で作っています）でくるんだ一品です。他にも大福、よもぎ大福、いなりもありますよ。

「沖野もち店」

黒石市元町 2 TEL.0172-52-2513
 営業8:00～（無くなり次第終了） 休毎週月曜日



MAP 12 MEMO



四半餅

「中町こみせ通り」の一角にある創業 190 年以上の歴史を持つ餅店です。上新粉とあんを練り合わせ、白と杵で丁寧についた「四半餅」は、江戸時代からの手法そのままの当店自慢のお餅です。また冷凍販売の「抹茶クリーム大福」も人気です。

「寺山餅店」

黒石市中町 36-1 TEL.0172-52-2826
 営業8:00～19:00 休元旦
<http://www.terayamamochiten.com/>



MAP 13 MEMO

串だんご

串だんご一筋 50 年！まったりと口当たりの柔らかいお団子は、3 種類の味が楽しめて、思わず和むスイーツです。だんご一つひとつがくっついていないのは、機械ではなく手作りの証。磨かれた職人の技・味を、ぜひ一度ご賞味ください。

「横浜屋」

黒石市山形町 142 TEL.0172-52-5503
 営業8:00～18:00 休不定休



MAP 14 MEMO

ねぶた煎餅

大正 12 年創業以来、代々津軽せんべいの伝統の技を守り続ける老舗のお店。「ねぶた煎餅」は 7 種類の煎餅が合計 40 枚入っている詰合せです。贈答品としても喜ばれ、またもらっても嬉しい！パッケージデザインにはねぶた絵がデザインされ、青森県を象徴するような豪華化粧箱入りです。

「株式会社製菓」

黒石市東新町一丁目 7 TEL.0172-52-2381
 営業8:00～19:00 休第 3 日曜日
<http://www.shibusen.co.jp/>



MAP 09 MEMO



バウムクーヘン各種 オリジナル焼き菓子

店内で焼き上げた数種類のバウムクーヘンと、かわいらしいオリジナルのお菓子が買えるお店です。出来立ての美味しさにこだわった商品は、どれもお土産やギフトに最適です。

「BOCOLABO」

黒石市油横丁 22-1 TEL.0172-78-0708
 営業10:00～17:00 休水・木曜日
 Twitter:BOCOLABO1



MAP 10 MEMO

干梅

「中町こみせ通り」の一角にて明治後期から営みが続いているお店。「干梅」は津軽地方で作られる梅干しに模して作られ、地元では「梅干し菓子」と呼ばれ親しまれています。白餡を薄い求肥でくるみ、塩漬けしたしそで包んだ「干梅」は、しその塩味と餡の甘さが絶妙な味わいです。また、ほのかな塩味の「こみせ最中」も好評です。

「有松葉堂まつむら」

黒石市中町 30 TEL.0172-52-3574
 営業8:30～18:30（冬期間は 18:00 まで） 休不定休
<https://matsubado.jp/>



MAP 11 MEMO

「こみせ」とは、藩政時代から今に残る木製の庇。

夏は暑い日差しを遮り、冬は吹雪や積雪から人を守り、軒を連ねていた旅籠や呉服屋、商家にとってなくてはならないものでした。

現在もまとまった形で残されているのは、全国的にも類例がないことから、昭和62年8月には「日本の道百選」、平成17年7月には「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

その歴史は、江戸時代前期に始まります。

1656年に「黒石津軽家」の創立とともに、

黒石初代領主津軽信英（のぶふさ）は、陣屋を造り、

分知以前からある古い町並みに

侍町・職人町・商人町を加えて、新しい町割りを行いました。

これが現在の町並みの基本となっています。

この時に作られたといわれているのが、「こみせ」です。

中町や前町は、こみせのある商店が立ち並び、

商業の中心として多くの人々ににぎわい、栄えていました。

今もなお、江戸時代からの造り酒屋・呉服屋・餅屋などの

商店や当時の生活の証である雪を防ぐ「しとみ」や

馬をつなぐ「さつなぎ」が残っており、

こみせのある情緒あふれた町並みとしてたたずんでいます。



黒石ならではの地酒



特別純米酒 菊乃井

文化3年（1806年）創業の、「中町こみせ通り」で215年の伝統を受け継ぐ造り酒屋。「菊乃井特別純米酒」は青森県の「華吹雪」を使用した辛口酒。飽きのこないスッキリとした飲み口。

「株鳴海醸造店」

黒石市中町 1-1 TEL.0172-52-3321
 営業8:30～16:30 休 不定休
<https://narumijozoten.com/>



CONTENTS

P 09	特別純米酒	菊乃井
P 09	特別純米酒	亀吉



MAP 15 MEMO

特別純米酒 亀吉

大正2年創業、大きな杉玉がひときわ目を引く、「中町こみせ通り」の一角にある造り酒屋です。「亀吉」は全国にもファンが多い人気のブランド。手づくりの気品あふれる味わいで、さわやかな辛口タイプのお酒です。

「株中村亀吉」

黒石市中町 12 TEL.0172-52-3361
 営業8:30～16:30 休 不定休



MAP 16 MEMO



甘口しょうゆ つがる味噌(白)

黒石の麹屋・横山醸造で造られた味噌としょうゆ。麹用の木箱で丹精込めて手づくりしたこうじと、青森県産大豆、黒石米、国内産食塩(天日塩)を100%使用したこだわりの逸品です。

「有横山醸造」

黒石市乙大工町6 TEL.0172-52-3366
 図8:00～17:00 困土・日・祝



りんごジュース

津軽平野から南八甲田、ちょうどその山々が始まる場所にあるのが、黒石市。寒暖の差があり、おいしいりんごが穫れる産地です。山合にある園地から穫れたりんごを、ブレンドせず単一品種ごとに搾り、りんごそれぞれの個性をそのまま封じ込めた無調整りんごジュースです。

「黒石観光りんご園」

黒石市浅瀬石清川106 TEL.0172-52-8898
 図9:00～16:30 困年中無休

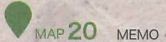


シャイニー スパークリング アップルジュース

青森りんごことソーダが出会い、おいしいジュースになりました。「スタンダード」は、モンドセレクション2011～2013で3年連続最高金賞受賞商品。雑味のないスッキリとした味わいの炭酸ノンアルコール飲料です。モンドセレクション2014年金賞受賞商品、果実感のあるコクと甘さが特長の「マイルド」や、2019年春発売・甘さ控えめ強炭酸でちょっとすっぱい青りんご風味の「ドライ」も好評です。

「青森りんごジュース(株)」

黒石市相野178-2 TEL.0172-52-2321
 図8:00～17:00 困土・日・祝
<http://www.shinyapple.co.jp>



J1ステーキソース

当店オリジナルのステーキソースをベースに、青森県産のりんごことにんにくをたっぷり使い、醤油と昆布だして和風に仕上げました。お店の味をご家庭でも楽しめます。日本(JAPAN)を代表して世界にはばたけ!との思いを込めた「J1ステーキソース」を、ぜひご賞味ください。

「有レストラン御幸」

黒石市中町36 TEL.0172-52-2558
 図11:00～20:00 困不定休
<https://www.miyuki.rest/>



CONTENTS

- P 10 黒石つゆやきそば、黒石やきそば
- P 10 南八甲田の水で育った黒石産野菜のクリーミーポターージュ
- P 11 甘口しょうゆ、つがる味噌(白)
- P 11 シャイニー
- P 11 スパークリングアップルジュース
- P 11 りんごジュース
- P 11 J1ステーキソース

黒石ならではの 食産品



黒石つゆやきそば、黒石やきそばセット

やきそばのまち・黒石を代表するソウルフード!モチモチとした食べごたえのある太平麺と特製ソースがクセになる味。ご当地グルメとして大人気の「黒石つゆやきそば」は、黒石やきそばにだしがかけられたもので、こちらもまた絶妙な味わいです。やきそば専門店「すずのや」の味を、ご家庭でもぜひお楽しみください。

「すずのや」

黒石市前町1-3 TEL.0172-53-6784
 図11:00～15:00 困毎週火曜日

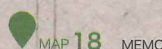


南八甲田の水で育った 黒石産野菜のクリーミーポターージュ

八甲田連峰の伏流水が湧き出る地・黒石のおいしい水で育まれた野菜をクリーミーなポターージュに仕立てました。野菜の旨味がたっぷり入った濃厚な味わいです。小さいお子さまにも安心な無添加・無着色。北国の自然の旨みを、ぜひご賞味ください。

「(一財)黒石市観光開発公社」お取り扱い「津軽こみせ駅」

黒石市大字板留字杉の沢2-22 TEL.0172-54-2358
 図虹の湖公園/9:00～17:00(4月中旬～11月下旬)
 タム資料館/4月～11月無休(12月以降は土日祝休業)
 困冬期間 <http://nijinokopark.jp/>



ものしりコラム

黒石市を代表する名物といえば「黒石やきそば」と「黒石つゆやきそば」。モチモチとした食べごたえのある太平麺と特製ソースがクセになる味です。全国のB級グルメが集まる祭典「B-1グランプリ」で上位に入賞し、人気を博した「黒石つゆやきそば」は、黒石やきそばにだしがかけられたもので、こちらもまた絶妙な味わい。全国各地からその味を求めて多くの方が訪れます。



黒石ならではの 創作品

CONTENTS

- P 13 阿保六知秀工人こけし
- P 13 阿保正文工人こけし
- P 14 山谷レイ工人こけし
- P 14 北山盛治工人こけし
- P 14 北山真由美工人こけし
- P 14 づくり独楽(さら・かぶ)
- P 15 こけし灯ろう
- P 15 こけし
- P 15 津軽鳥城焼
- P 16 津軽塗
- P 16 ポッコ靴
- P 16 黒石よされTシャツ

阿保六知秀工人こけし

4寸、3寸縄文津軽こけし、3寸りんご柄こけし

第55回全日本こけしコンクールで内閣総理大臣賞を受賞した、阿保六知秀工人の工房。津軽藩の家紋である牡丹の花を描いた伝統的な温湯こけしや、干支こけし、だるまキーホルダーなど津軽らしい創作品を制作しています。

「阿保こけしや」

黒石市花巻 34-3 TEL. 0172-54-8865
営業 9:00 ~ 18:00 休 不定休



MAP 23 MEMO

阿保正文工人こけし

りんご帽子こけし 4寸

遊び心のある作風で人気の高い、阿保正文工人の「りんご帽子こけし」は、りんごの中から生まれたようなイメージでとってもチャーミング。手の平サイズでとてもかわいいと評判です。(要事前連絡)

お取り扱い「阿保こけしや」

黒石市花巻 34-3 TEL. 0172-54-8865
営業 9:00 ~ 18:00 休 不定休



MAP 23 MEMO

こけし灯ろう

津軽系こけしの形をしたものや、武者絵が描かれたえんつこ型まで、形も大きさもさまざまな「こけし灯ろう」。その他、津軽凧やこけしグッズ、タオル掛、コースター、うちわなど津軽の民芸品を中心にお土産をたくさん取り揃えております。

「こけし灯ろう店」

黒石市大字浅瀬石字清川 172-1
TEL. 090-2957-6533

(お問合せ、ご注文はお電話にて承っております)



MEMO



こけす

地域の活性化を目指した高校生が、地場産業である津軽の伝統こけしと世界的なチェスゲームをコラボレーションさせました。その名を「こけす」といいます。こけしのように可愛らしく、チェスの要素により世界に販売できる、黒石市だけのお土産として製作されています。駒を利用したストラップや箸置き、マグネット、カードスタンド、ブローチ、キーホルダー等も有ります。

お取り扱い「市内各お土産店」

(津軽こみせ駅、松の湯交流館ほか)

TEL. 0172-52-9610 (製作者：今 金雄)

MAP 26 MEMO

津軽烏城焼

かつての黒石陣屋の城壁が黒く「烏城」と呼ばれていたのが「烏城焼」の由来。世界に誇る縄文文化脈打つ青森県で、自然釉にこだわった「烏城焼」は、赤松で焼き上げられ、炎と土が織りなす「物語」が紋様として彩られます。2018年12月に完成した103.59メートルの登り窯は、世界最長の登り窯として、2019年8月にギネス世界記録に認定されました。

「津軽烏城焼三筋工房」

黒石市豊岡狼森 27-109 TEL. 0172-53-3082

図 10:00 ~ 18:30 困毎週火曜日 (祝日の場合はその翌日)

<https://www.ujoyaki.jp/>



自然釉大壺

MAP 27 MEMO

山谷レイエ人こけし

6寸ギョロ口目こけし、3寸帽子付きレインボー、3寸りんごのせこけし

こけしには珍しい巻き毛の髪とギョロとした目が特徴の、山谷レイエ人のこけし。地元黒石の林檎やモミジ、椿の花などが絵付けされ、遊び心と愛嬌あふれる表情が人気です。

お取り扱い「津軽こけし館」

黒石市袋富山 72-1 TEL. 0172-54-8181

図 9:00 ~ 17:00 困年末年始

<http://tsugarukokeshi.com/>



MAP 24 MEMO

北山盛治工人こけし・北山真由美工人こけし

(6寸、4寸こけし各種) (3寸こけし各種、2寸赤ちゃんこけし)

北山盛治工人は、山谷きよ氏に師事し「山谷型」を継承。その受け継いだ型を生かしつつ、ねぶた絵師としての活動で培った描彩技術も取り入れた独自のオリジナルティーあふれる作品を作り続けています。

北山真由美工人は、父・盛治氏に師事。山谷型を継承し、かわいらしい見た目のギョロ口目こけしも多く制作しております。

お取り扱い「津軽こけし館」

黒石市袋富山 72-1 TEL. 0172-54-8181

図 9:00 ~ 17:00 困年末年始

<http://tsugarukokeshi.com/>



MAP 24 MEMO

ずぐり独楽 (さら・かぶ)

「ずぐり」とは、津軽地方伝統の独楽(こま)で、雪の土で回して遊びます。上部に軸がなく、内側はすり鉢状で、底部に「立ち子」と呼ばれる太い軸がついているのが特徴。主に、お皿に似た平たい形の「さら」と、野菜のカブのように、胴体部分が膨らんでいる「かぶ」の2種類があります。

「津軽こけし館」

黒石市袋富山 72-1 TEL. 0172-54-8181

図 9:00 ~ 17:00 困年末年始

<http://tsugarukokeshi.com/>



MAP 24 MEMO

ものしりコラム

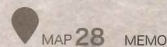
「津軽系こけし」は、一本の木から作られる「作り付け」という手法と、真っ黒なおカッパ頭が特徴のこけしです。形は様々で、胴体には牡丹・アヤメ・ダルマ・アイヌ模様が主に描かれています。数多くの先人たちが伝統の技を作り上げ、現在もなお、その技が継承され続けており、世代を超えて人々に愛され続けています。

津軽塗

塗りと研ぎを繰り返し、完成まで約50工程と手間ひまをかけて作り出す、通称「津軽のバガ塗り」と呼ばれる津軽塗。伝統工芸士が一点一点丁寧に仕上げた作品は、堅牢な作りと深みのある色彩が特徴です。あなたの生活空間に津軽塗はいかがでしょう。オリジナル商品も承ります。

「津軽塗工房」

黒石市袋富山 65-1 (津軽伝承工芸館内) TEL.0172-59-5307
 図9:00 ~ 17:00 図火曜日 (12月~3月は月曜日休業)

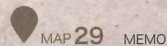


ボッコ靴

1970年代に姿を消してしまった雪国の長靴「ボッコ靴」。2005年に見事に復活させた、幻の長靴です。天然生ゴムを使用し、裁断から成形までの全行程を手作業で行います。長時間の雪上作業でも足が冷たくならないのが最大の特徴です。

「Kボッコ株」

黒石市横町 1-2 TEL.0172-52-2181
 図9:00 ~ 18:00 図不定休
<https://www.k-bocco.com/>

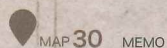


黒石よされTシャツ

江戸時代から続く日本三大流し踊り「黒石よされ」をモチーフに、青森出身の版画家棟方志功のタッチでデザインされた「黒石よされTシャツ」。楽しくにぎやかなお祭りの雰囲気を伝えるTシャツは、津軽黒石こみせ駅限定販売のオリジナル品です。

「津軽こみせ駅」

黒石市中町 5 TEL.0172-59-2080
 図9:00 ~ 17:00 図火曜日・元日
<https://tsugarukomise.jimdofree.com/>



まちなか周辺マップ



くろいし
物産散策
マップ

黒石市は、歴史深い街並みや温泉、豊かな自然に囲まれた城下町です。そしてその土地の文化から生まれた、個性と魅力にあふれた黒石ならではの品々が揃っています。風情を楽しみながら地図を頼りに小さな旅に出かけましょう。



黒石温泉郷周辺マップ



アクセス

✈ 飛行機

東京(羽田) ⇒ 青森空港(75分)
名古屋(小牧) ⇒ 青森空港(80分)
大阪(伊丹) ⇒ 青森空港(95分)
札幌(新千歳) ⇒ 青森空港(50分)

🚅 新幹線 🚆 在来線 🚌 高速バス

東京 ⇒ 新青森(新幹線:約180分)
仙台 ⇒ 新青森(新幹線:約100分)
八戸 ⇒ 新青森(新幹線:約30分)
新函館北斗 ⇒ 新青森(新幹線:約60分)
新青森 ⇒ 弘前(特急:約30分)
弘前 ⇒ 黒石(弘南鉄道:約30分)
東京 ⇒ 弘前(高速バス:約9時間)

🚗 車

川口JCT ⇒ 黒石I.C.(東北自動車道:約8時間)
青森空港 ⇒ 黒石市内(40分)
新青森 ⇒ 黒石市内(50分)
弘前 ⇒ 黒石市内(35分)

※各区間の所要時間は
最速時間となっております。

凡例

- 東北新幹線
- JR奥羽線
- 弘南鉄道
- JR五能線
- JR大湊線
- 青い森鉄道



📞 お問い合わせ / 黒石市商工観光部商工課

〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11番地1号
TEL 0172-52-2111

🌐 <http://www.city.kuroishi.aomori.jp/>

📱 Visit Kuroishi | Q

黒石観光協会

Facebook

Instagram



令和5年6月発行